

(別紙 3)

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス わかばプラス				
○保護者評価実施期間	10月1日2025年 ～ 2026年 2月20日				
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	21	(回答者数)	18	
○従業者評価実施期間	2024年11月10日 ～ 2025年2月10日				
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数)	5	
○事業者向け自己評価表作成日	2025年2月28日				
○ 分析結果					
	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等		さらに充実を図るための取組等	
1	小集団の活動の中で個々が主体的に活動出来る環境であること。 個々の能力に合わせた療育プログラム設定。	職員会議や情報の共有を行い、常に何が適しているのか？を話し合える場を作るように意識して取り組んでおります。		職員全員が様々な目線で議論できる場でありたいので、引き続き会議や療育内容の見直しなどを行っていきたい	
2	事業所前が大きく広い公園である事で、事業所内だけでなく、戸外活動にてのプログラム設定ができる。 開放感のある事業所である。	地域との繋がりを大事にしており季節の行事やイベントなどに地域の店舗さんにご協力頂き利用者との交流に取り組んでおります		地域交流を幅広く実施できるように、進んで地域イベントや主となり交流イベント等企画し、利用者のインクルーシブ活動につながる事が出来るように取り組みたい	
3	事業所で活動の様子を保護者に見学ができる時間を設けたり、保護者間の交流ができる	定期的に保護者交流の場を開催。保護者の意見も参考にしながら開催内容を考えております		事業所にとどまらず、児童発達やグループホームと繋がり幅広く交流できる会を計画出来るようにする	
	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等		改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等	
1	新規利用枠がなく、利用希望の方の受け入れが困難である事	受け入れ枠が限度となっている。		利用希望者のニーズに合う事業所の紹介や、支援が止まることのないように事業所間の連携も必要と感じております	
2	専門職員の配置がない	従業者に保育士・児童指導員のみ雇用している状態		雇用上の困難さがあっても知識は取り入れることはできるので、理学療法士や作業療法士、言語聴覚士、心理士の方に直接研修を依頼し、知識を付ける勉強会などの実施や事業所内でも取り入れることが出来ることを相談できる関係性の構築に努めています	
3					